

## 就職未決定者上伊那地区残り約30人



昨日上伊那地区の高校の進路担当者が伊那のハローワークに集まる会がありました。そこで各学校の情報交換をした際、上伊那地区でまだ就職が決まらない生徒はおよそ30人でした。そのうち本校が半分以上を締めています。他校は皆5人以下で、ほぼ全員決まった学校もあり、本校の多さが際立っています。本校も現在内々定をもらっている者や、応募書類を提出したり、企業見学に行っている者もあり、もう少し決まってくると思っています。

しかし、進路にいて気になっていることもあります。就職支援員の唐澤さんにせっかく新たな求人を開拓いただいているのに、一向に応募しようとしなない現象です。もう少し待てばもっとよい企業が出てくると思っているのでしょうか。残念ながら、今後それほど多くの求人があるとは思えません。いつまでもぐずぐずしていると、卒業式後にも就職が決まらない一人になる可能性があることを覚悟してください。選り好みをする余裕はもはやありません。

ただし、入社後すぐにやめられるような進路選択はお互い不幸です。ある程度は適性を考える必要はありますが、今年はある程度我慢をし、ある中から選ぶより仕方ありません。

なお年明けにハローワークで高校生の就職未内定者を対象とした就職面接会(企業が参加し)実施する予定です。詳細が決まり次第改めて連絡します。



## 気働きが出来るか

先日私の中学時代の同級会があり、それに出席した折り、地元のある銀行の重役をしている同級生がこんな話をしてくれました。

「最近の若い者は、全体を見渡し気働きが出来る者が少なくなっている。あるお客さんの対応をしている際も、そのお客さんだけのことでめいっばいになってしまう者が多い。周りのお客さんの様子も敏感にキャッチし別の人にもきちっと気をつかうことが出来なければダメだ。こういうことが意外に今の若者は出来ない」。

またこんな話もしました。「最近、長い時間をかけていれば仕事をしているような気持ちになっている若い者が多くて困る。出来る奴はぱっぱと仕事をこなし、ダラダラと時間をかけるようなことはしないものだ」。

「最近は全て電卓やコンピュータで計算するために、あまり考えずに入力していて、考えられないような入力ミスに気がつかない者が多くて困る。自分で考えながら仕事をやればこんな事はもっと少なくて済むはずだが」。

「最近の若い者は常識のない者が増えている。どうしてこんなことも知らないのかとあきれってしまう」。今の銀行は皆大卒であり、それなりの能力を備えた人たちが入社していると思うのですが・・・。宴席で出た話でいささか辛辣な面がありますが、これから社会に出る皆さんには、これら話は是非自分のこととして受けとめて欲しいことです。